

公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備評価委員会報告書骨子(案)

1 はじめに

2 現状と提言

(1)現状

- ・公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備に関するチェックシート集計結果
- ・キャリアパスに関するアンケート結果に基づく現状解析
- ・公衆衛生医師の確保・育成のための事例報告
- ・

(2)課題と方策

ア 公衆衛生活動の啓発について

(ア)医学教育の中での公衆衛生教育のあり方

- ・医学生全体に公衆衛生マインドを持ってもらうためには？
 - 現時点での大学における講義内容は効果的か？
- ・保健所実習における検証
 - 効果的であった実習例を収集し、それを実習受け入れ機関へ広く紹介する必要があるのではないか？
- ・県庁等での学生実習は可能か？
- ・インターンシップをさらに活用するのは可能か？
- ・

(イ)一般住民への普及啓発

- ・一般住民へ保健所の役割について保健所の日の制定するなどして普及啓発をすべきではないか？
- ・一般住民からたよりになる保健所にするには？
- ・

イ 公衆衛生医師確保について

(ア) 卒後臨床研修医師へのアプローチ

- ・公衆衛生関連業務をどのように魅力あるものとして紹介するか？
- ・アクティビティの高い保健所で研修を行うには？
- ・国立保健医療科学院の研修プログラム等を広く周知すべきではないか？
- ・効果的であった研修例を収集し、それを研修受け入れ機関へ広く紹介する必要があるのではないか？

(イ) 臨床等の医師へのアプローチ

- ・メディアをどのように活用するか？
 - 臨床医がしばしば目に触れるようなメディア(雑誌、インターネット)の活用が必要ではないか？
 - 公衆衛生関係のメディアだけでは不十分ではないか？
- ・保健所の地域の医療機能の調整などの事例を積極的に紹介してはどうか？

ウ 現任公衆衛生医師の資質の向上のために

(ア) 自治体内のキャリアパスについて

- ・大阪府などの好事例について紹介すべきではないか？
- ・指定都市・中核市・政令市におけるより良いキャリアパスとは？

(イ) 人事交流の活用

- ・他の組織との人事交流を活発にすることでより良いキャリアパスにつながるのではないか？

(ウ) 研修プログラムの整理・統合

- ・複数ある類似の保健所長研修の整理統合をすべきではないか？

(3) 提言

- ・課題と方策のまとめ
- ・公衆衛生医師が活躍できるより効果的な条件はどのようなものか検討していく必要があるのではないか？

公衆衛生医師の適切な人員配置とは？

公衆衛生医師に求められる必要な能力とは？

・

3 参考資料

- (1) 「公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備に関するチェックシート」
項目別集計表
- (2) 「公衆衛生医師の育成・確保のための環境整備に関するチェックシート」
集計結果総括
- (3) 「公衆衛生医師のキャリアパスに関するアンケート」集計結果
- (4)